

# 瀬戸内トラストニュース

95年 9月

環瀬戸内海会議 編集・発行/ 編集委員会

## 立木ボランティア! 発足!!



# 樹木 震災時に防災の役割 被災地へ苗木送ろう

立木トラスト運動で環境保護に取り組む「環瀬戸内海会議」(六十一団体、会員約十万人/阿部悦子代表)の第六回総会「地球からのメッセージを受け止める」が、神戸市垂水区東垂水町の舞子ヒラで三日から始まり、新たに「立木ボランティア基金」を設立、被災地に樹木の苗木を送ることを決めた。

同会議はリゾート開発による森林破壊から山々を守ろうと五年前に発足した。瀬戸内海周辺の保護を必要とする森林の立木を買い取り、開発をいとめる「立木トラスト」に取り組んできた。

ところが今回、「樹木が家屋の倒壊や火災の延焼などを防いだ」という阪神間の立木オーナーの声を受け、基金を設け、被災地にウバメガシやクヌギなどの苗木を送ることを決めた。

代表の阿部さんは「自然に守られて生きている観点から街づくりを提案したい。苗木を通じた都市とトラスト現地との交流をこれから深めたい」と話している。基金の振込先は「郵便振込01390818125742 瀬戸内トラスト立木ボランティア」まで。一口千五百円。また苗木の申し込みは、☎0822・295・1444、環瀬戸内海会議事務局へ。

### 町にクヌギ ウバメガシ

環瀬戸内海会議 「立木基金」を設立

## 第6回 環瀬戸内海会議総会 in 兵庫 ('95.6.3~4)

環瀬戸内海会議広島事務局 藤井 純子

今年の総会は、まだ震災の記憶もさめやらぬ神戸市の舞子で開かれました。

集会ではまず4人の方から震災の体験を聞き、その後、環瀬戸代表の阿部さんを司会に3人のパネリストのシンポジウムがありました(表紙写真)。皆さん、さまざまな立場から説得力あるお話でしたが、共通していたのは《この震災は人災であり、しかも復興という名の開発が、また進められようとしていることへの怒り》だったでしょうか？

安藤さんは「井戸や簡易水道、プロパンガスなど田舎暮らしの方が地震に強く、復旧も早かった」と、効率ばかり追う生き方に反発。早川さんも「福祉を切り捨ててやってきた開発が被害を広げた行政災害だ」と怒る。湯浅さんは「1960年以前には食料や燃料などは自給、あるいは近くで賄えたのに今それが大きく崩れてきた。それに危険物が住民のすぐそばに、しかも知らされずにあることが問題だ」と指摘。阿部さんも「この混乱の中で更に埋め立てで作るという神戸空港建設はおかしい。環瀬戸として何かできないだろうか？ アメリカでは、サンフランシスコ地震後の街づくりについて公聴会を2年余り続け、300の市民グループからの意見を求めたというのに...」と緊張した話し合いが続きました。

でも、自然大好きな三木さんや、鷺尾さんの「所詮、人間はみな仮住まい。ぼくらは自然の中で生かされているのだから...」の話で、「ああそうなんだ。ゼロからの出発の“今”こそ自然と共に生きるチャンスにしようよネ」という和やかな雰囲気になりました。そこに、ラフマニノフのピアノ伴奏にのって詩の朗読(多田智満子作)があり、だんだん環瀬戸らしい(?)元気が出てきました。

続く総会では、く立木ボランティアの提案があり、参加者全員の賛成で承認されました。神戸の畑さんが苗木の希望者を取りまとめ、苗木の世話はどんぐり銀行の三木さん(香川)が、基金は広島事務局が今まで通り受け付けることになりました。

翌4日は瀬戸内法とベイエリアの問題について、行政法の横山先生(松山大)からお話を聞きました。多少難しいお話でしたのでわかったことだけ...。織田が浜埋め立て訴訟敗訴を通してみると、埋め立ての審査基準については、港湾管理者の自由にはならないと認めただけれど、“影響が軽微”という裁判官の主観的判断にゆだねられるので法的拘束力の弱さのみが目立つ結果になったそうです。このことから、講演後、瀬戸内法を改正すべきかどうかの話し合いが続きました。埋め立てで作るという神戸空港を作らせないためにも、改正して拘束力を強くしなくては...あるいは、現行のままでも世論の力で変わってゆくように運動していこう...。トラストのように多くの人をまきこんで...など、さまざまな意見が出ました。

経験と知恵と元気とやさしさがギュットつまった、いつものように楽しい集会でした。帰り、在来線で三宮まで行き、下りて付近を歩いて震災の後を見ました。かたずけもだいぶ進んでいました。車窓から娘をはじめは「スゴイ!」などと叫んでいましたが歩いているうち言葉少なになってきました。そんな中で環瀬戸内海会議を準備して下さった皆様、どうもありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

# 立木ボランティア基金に



## 〈苗木を送ろう!!〉 ご協力ください

### ○ 瀬戸内トラスト・立木バンク

リゾート法を背景にしたゴルフ場・リゾートブームによる森林破壊から山々を守ろうと、1990年、瀬戸内周辺のグループが集まり、発足したのが、環瀬戸内海会議です。

1本1500円でゴルフ場予定地の立木を安く買ってもらうことにより、27ヶ所で札かけ、16ヶ所のゴルフ場をストップしました。立木オーナーは6000人近く、札かけをしている木は14000本にのぼります。

また、1994年総会にて、ゴルフ場以外の開発計画をストップさせて、森林の再生をめざすために、資金を事前に蓄えておく「立木バンク」が決定。池田町のゴミ処分場計画にも歯止めをかけています。

### ○ 1月17日兵庫県南部地震

この地域には1000人ものトラストの木たがいらっしやいます。うちお木がたくなられ、たくさんの方が家族を亡くされています。

瀬戸内トラストは山と海をつなぎ、山と都市をつないで、森林の大切さ、立木の意味を考え訴えてきた運動でした。そのことをさらに深く改めて考えさせてくれたのは震災地の都市化による被害の大きさと、「震度7の烈震にも木は倒れなかった」と報告された事実の重さです。

### ○ 立木ボランティアは、

今回「立木バンク」の特例として立木ボランティア基金を募ります。震災地で、各家又は施設の土地に木を植えようとする人たちに、苗木を送る運動です。自然に守られ、自然と調和して生きるための町づくりを提案するためのシンボルとして苗木を送る運動をすすめます。

〔 震災地の方になら誰にでも送ります。 10本まで。 <sup>場所が あれば</sup> 送料が あり ます。 送る時期・植付種は相談に応じます。 ウバメガシ、クヌギ、シナナラ、ササナカ、ウメ、ヤマモモ等 〕

基金振込先	問い合わせ先
郵便振込(01390-8-25742)	〒655
瀬戸内トラスト	神戸市垂水区神和台1丁目10-15
(立木ボランティアと書いて下さい)	Tel. 078(795) 2068
	Fax 畑 英理

# 《環瀬戸内海会議第6回総会》

- 地球からのメッセージを受けとめる- 会場アンケートより

- ◎パネルディスカッションの短い時間にとっても深い話が語られ、とても勇気づけられました。

震災を地球の一瞬のメッセージとするなら、今までにも様々な身に感じなかったメッセージがまわりにいっぱいあったし、これからも、と地震だけを切り離せなくなりました。

(神戸市 由良佐知子)

- ◎子供たちの未来のために、今やっておかねばならぬことをいろいろと教えられたように思います。

市民が権利を主張するために力をつけねばならないということはもっともで、当面、今回の選挙では、私たちの思いに近い人を議会に送りたいと思っています。

(神戸市 高坂邦子)

- ◎震災直後は被害の大きかった地域の方々の事が思われて、家族が無事で屋根があれば文句は言っていられないと思っていた私です。ところが、ライフラインが戻った頃から無気力になっている自分に気づき(気がぬけたのでしょうか)、これはいけないと反省の日々でした。

今日、早川先生に「誰の為に、何の為に、何を復興するのか」と言われ、これは今の私の指針でもあると感じた。

(神戸市 佐津川寿子)

- ◎岩国基地沖合移設、広島湾の出島沖埋め立て、岡山県での港湾施設のための沖合人工島計画、大阪湾フェニックス新設、関西新空港全体構想、山口県上関町の原発計画など、瀬戸内海をめぐる情勢はきびしいものがあります。瀬戸内法の見直しを求め、運動のネットワークを強化することが必要です。

立木トラストの海面・海中版 なんてありませんか

(高砂市 服部豊)

- ◎神戸の街が静かになり、車より歩く事の大切さを感じる街 となる

のは夢なのでしょう。瀬戸内海の埋め立てはもうやめて生物の育つ海に戻ってほしいものです。

(松山市 中野鈴江)

# 記念集会

◎大変な時にこのような大会をありがとうございました。マスコミも  
住民運動を「オウム」位に熱心に取り上げてくれば、  
普通の人達も気づいてくれると思うのですが...。  
私も一人でも多くの人に知らせたいと思っています。

(神戸市 小副川久代)

◎住む能力、私たち一人一人の力量を培っていくことを痛感しました。  
このことに関して提案があります。立木トラストをはじめ住民運動を継続して発展  
させていくには、

- ・次世代へ基本理念を伝えていくこと、そしてより多くの人達、特に若い世代のアイ  
ディアを掘り起こしてゆくことが必要です。

立木トラスト運動と平行して長期的な見通し策、若者・子供たちへの啓蒙方法  
を他の草の根運動の人達と共に知恵を出しあって下さい。

- ・立木ボランティアはとてもよい試みだと思えます。

立木トラストと同様、まちとむら、人と人をつなぐよい方法です。故郷(ふるさ  
と)村作りに通じます。他のグループにも呼びかけてはどうですか。これが発展  
して自治体どうしの立木バンクになって緑の街づくりになるとよいと思えます。

- ・文集発行はよい方法ですね。来年は「復興に際しての感想・提言」  
を全国の会員を対象に募集して下さい。より多くの人を書くことが総会に参加で  
きる方法だと思えます。立木ボランティアの反響も載せて下さい。

(神戸市 荒木佐江子)



大震災のあと早くも4ヵ月が経ち、いつしか桜の季節から若葉  
の緑の季節となりました。自然ってすばらしいです。垂水区のお  
住まいで、被害はいかがでしたでしょうか。

私こと、二見町に住んでいて、賃貸マンション7階建の倒壊は  
まぬかれましたが、「黄マーク」が貼られ、エレベーターは使えず、ガス、水の  
無い生活から非難して、4月から息子家族の住む千葉県へ引き上げました。長い  
間の関西の生活から精算しました。総会のご案内をありがとうございます。申込  
み先の北野様は求める会会長さんでしょうか。長い間お交わりいただきました。  
今後、関西へ向かうことも能わないとおもいます。皆様におよろしお礼をお伝  
えくださいませ。

千葉県柏市 中村スミ子

(総会当日、葉書をいただきました)

# 立木バンク 2ヶ所で開始!

昨年の総会で決定した「立木バンク」をお知らせしたところ、現在までに約 900本のお申込みがあります。その内の 300本を使って、2ヶ所で立木トラストが始まっています。まだ多くの方々に札かけを待っていただいておりますが、現地からの札かけ希望が無ければ出動できません。その点はどうぞご理解のほどお願いいたします。

なお、今回、新たに始まった、阪神の震災地に立木の苗を送る「立木ボランティア」に振り替えていただくことも考えています。御希望の方は事務局まで、御一報下さい。

西条町福本の  
ゴルフ場計画

## 立ち木トラスト運動

松板川守る会が阻止で 120本を買い取る

広島カラス('94.10.14)



東広島市西条町福本地区のゴルフ場建設計画に反対している地元の住民グループ「松板川を守る会」(河野好一代表、50人)は、予定地の樹木を買い取る「立ち木トラスト」を始め、今後は一般市民にも運動を広げ、ゴルフ場開発をストップさせる一として、計画によると、西条カントリー(株)(本社・東京、蓮池義昭社長)が西条町森近、福本、大沢などにまたがる山林約224畝(保安林含む)を開発し、18ホールをゴルフ場をつくる。昨年10月に同カントリーから市に対し事前指導の申し出があり、市ゴルフ場諮問委員会(会長・溝上泰広大教授、11人)が今年4月、現地調

査している。平成9年3月のオープン計画。これに対し「松板川を守る会」は、今年3月結成、広大な山林を開発し芝生にするゴルフ場は住民の生命の水源地を根底から破壊し、保水力低下は飲料水、農業用水を枯渇させる。ゴルフ場に散布する大量の農薬と化学肥料によって住民の健康が侵される一などとして、市に白紙撤回を求め、陳情書を提出し、今年7月にゴルフ場建設にストップをかけている立ち木トラスト運動の展開を決めた。

これまで建設予定地の地権者4人の協力で、瀬戸内海近辺の各県などで立ち木トラスト運動を展開している自然保護団体「環瀬戸内

海会議(本部・今治市、阿部悦子代表)の出資で、計120本を買い取っている。会員はヒノキの幹に名前を記した札を

「生命の水を育む大切な木です」「子供たちの未来に緑の贈り物」「水源の森を次の世代に残す」と書いた札を縦

## 《 なんでまだゴルフ場?? パート2 》

松板川を守る会(東広島市)河野 好一

オーナーのみなさん、ありがとうございました。みなさんの名前、コメントを札に記入している時の熱い思いを今も忘れておりません。私たちが小さい頃、魚を取った小川、マツタケを取った山をまだ顔を知らない市内や遠くの人たちが一緒に守ってくれている。この小さな木の札、自然を愛する人々どうしが一体になっている。みなさんの顔が浮かんでくるようです。

みなさんのためにも、私たちの山のシカ、イノシシ、キツネ、タヌキ、ノウサギ、イタチ... キジ、ヤマドリ、タカ、ノバト、フクロウ、メジロ、カッコウ等、多くの動物たちのためにも、ゴルフ場のような自然破壊から守ってみせます。

みなさん方からいただいた思いを私たちの会と一体にし、トラストの本数も増やして自然を大切にしたいと思っています。これからも協力をよろしくお願いいたします。

# 《 廃棄物処分場反対 立木トラスト実施 !! 》

きれいな水と命を守る会 (徳島 池田町) 工藤 政幸



雑木にかけられた立木トラストのプレート

## 立木トラスト プレートを掲示

### 池田・処分場反対グループ

看板を掲示したのは、同地区の蔵谷に近い山の斜面約五千九百平方メートル。会員九人が山に入り、一本ずつ所有者の名前とともに「きれいな水をいつまでも」などの標語を添えたプレートをめぐりつけた。現地は町中心部と、ゴミが焼却処分されたあとの灰などを埋める蔵谷を結ぶ進入路の一部になっている。

### 予定地の100本に

三好郡行政組合(管理者・丸岡敬幸池田町長)が、池田町大和地区に計画している一般廃棄物最終処分場の建設に反対する住民グループ「きれいな水と命を守る会」(工藤政幸代表)は十八日、建設予定地の雑木百本にオーナーの名前を書いたプレートを取り付け、本格的な立木トラストに乗り出した。

雑木オーナーの募集は七月から始め、一本千五百円、これまでに同会に五十人以上反対運動を支援している環境保護団体「環瀬戸内海会議」(事務局・広島市、阿部悦子代表)にも三百人の申し込みがあった。今後、

三千本を目標にオーナーを募る。工藤代表は「これまでに、プレートを取り付けられた山の所有者と借地権を設定。このほか五人からも建設反対の同意を得て、一部を買い取るなどしており、「反対運動の輪は幾重にもかけている」と強硬な姿勢を見せている。同組合によると、同町西山にある現在の処分場は来年度中に満杯となるため、新しい処分場が必要とい、来年中に約五拾万を買取りたいとしている。

読売新聞( '93.12.19)

私たちは今までゴミは捨てるものだと考え、実際にそうやってきました。ところが、便利さの追求とともにゴミの排出量は毎年増え続け、今では国民1人あたり毎日、約1kgものゴミを出すまでになっています。

不燃物は破碎され、可燃物は焼却して焼却灰として体積を減らされますが、最後にはどこかに埋め立てられます。この焼却灰の中にはダイオキシン、重金属、さらにはさまざまな化学物質が濃縮されて残っています。

三好郡行政組合(管理者丸岡池田町長)が建設予定のゴミ最終処分場は、池田町民の飲み水の取り入れ口からわずか4km上流、吉野川から200mの所なのです。このゴミ最終処分場の建設により町民は有害物質の含まれた水を永遠に飲み続けることになります。

子々孫々にわたり予想もつかない重大な環境汚染を引き起こす恐れのある処分場建設中止を求めて、処分場予定地に立木トラストを実施しました。昨年始まった環瀬戸内海会議の立木バンクからも110本の御支援をいただきました。ありがとうございます。

今後、ゴミをよそへもどこへも捨てない町、ゴミをゴミにしない社会システム、地球の資源と環境を損なわない物質循環の社会をめざしてがんばって行きますので、ご支援よろしくをお願いします。

# 弓削町

# ゴルフ場建設凍結

## 木下町長「開発企業が震災被害」

越智郡弓削町は二十三日、同町佐島に建設を予定していたゴルフ場建設を凍結することを明らかにした。

同日開かれた六月定例町神大震災で開発企業も被害を受けゴルフ場の開発推進

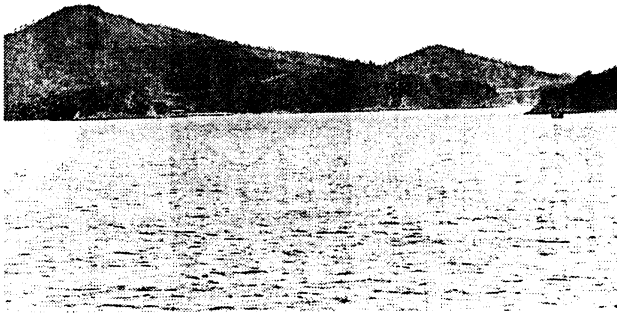
は事実上困難なため、この計画に関しては凍結する」と表明した。

同ゴルフ場建設については、アパレルメーカー「ジャヴァ」(本社・神戸市)

が事業主体となり、当初弓削島と隣接する佐島に九ホールずつの開発計画を進めていたが、建設に反対する地元住民らの立ち木トラスト運動によって弓削島の計画を断念。平成五年、佐

島への十八ホール建設を打ち出していた。「リゾート開発は町の基本方針」とする同町では、今年三月議会でゴルフ場建設の進展をたえず議員に対し「進展はないが計画は続行する」と答弁していた。

同日の議会傍聴席で凍結発表を聞いた「弓削町の自然を考える会」代表の田中布由子さんは「反対運動にかかわって二年半近く、ホッと肩の荷をおろした気持ち。でも発表が遅すぎる。なぜもっと早く発表



ゴルフ場建設計画が凍結となった弓削町の佐島

## 反対運動実った

阿部悦子ゴルフ場とリゾート法を考える県民の会代表の話。時節柄、経済的なこともあるだろうが、約二千人が立ち木トラストに参加し反対運動してきた成果で、本当に良かった。むしろ

中で頓挫(とんざ)していたかもしれない。地元住民は五年間、開発計画にほんろつされ、苦勞してきた。開発計画についてもっと住民の意見を聴く態勢をとるべきだ。

今から5年前、弓削島のゴルフ場計画を聞いた時、最初に浮かんだのは、「あの小さな島に、何かのマチガイじゃないの」という驚きだった。それが町をあげての大まじめ計画であることが

分かってからも、この気持はいつも心のどこかに巣くっていた。

今の気持ちは、それが正されたにすぎないというものである。喜びはほとんどない。

この「マチガイ」が島にもたらした混乱はあまりにも大きかった。そしてこの「マチガイ」をゴリ押ししてきた国・県・町に対する不信感は今もぬぐい難い。しかし、この間に二度、町長選・町議選が戦われた。女性の町議も生まれ、町当局を見つめる町民の眼も変化している。ただもともにもどただけとは思わない。

私たちが立木トラストを始めたのはこの弓削島であった。もしここでゴルフ場計画がもちあがらなかったら、瀬戸内海に目を向けて自然を考えてゆこうという視点を持ちえただろうか？ 環瀬戸内海会議が生まれただろうか？ 弓削島の成果は、「瀬戸内海を毒壺にすまい」という私たちのこの運動がまちがっていなかったことの象徴である。(船木記)

愛媛新聞(94.6.24)



## 〈 県 議 選 を 戦 っ て 〉

環瀬戸内海会議代表 阿部 悦子

私は、さる4月9日の統一地方選に、愛媛県の今治市選挙区（定数4）で県議選を戦い、6,408票を獲得しながら143票差で次点となりました。環瀬戸内海会議の皆様には、物心両面での大きなお支えをいただき、ありがとうございました。

県内では、ゴルフ場問題や、学校給食、行政手続き条例の制定運動に取り組んだ仲間が、昨秋、10名程で準備を始め、選挙終盤には90名のボランティアと1,100名のカンパで熱い戦いをくり広げました。

環瀬戸内海会議で学んだことがその大きな原動力でした。「瀬戸内トラスト」で知り得た人々は、例外なくふるさとの山野を「金」に換えることを拒み、生命を生み出す場所として守ることに心血を注いでおられる方々でした。11府県で運動を担う仲間、そして運動を支えてくださる全国のオーナーの方々。その「不思議な幸せな」つながりの連携プレーが、次々とゴルフ場にストップをかけました。

一方、バブル経済のもとでしか成立しないゴルフ場・リゾートの推進役でしかなかった自治体。その存在は人々の想いとは遠くかけ離れているが故に「形骸化」した「議会」の姿をさらけ出しました。「リゾート法」は政官財癒着の法律版とも呼ぶべきものでした。

私は、私たちのふるさとに「住民主権」の旗を掲げて、住民自らの手で、新たな「連携プレー」を議会の中に持ち込むことでしか、私たちの大切なものを守ることができないと考えたのです。50年間、女性議員を1人も生み出していない愛媛県議会への挑戦でした。

—— 投票日翌日の早朝、私の支持者宅が家宅捜索を受け、6人が買収饗応の容疑（もちろん無実！）で2日間のきびしいとり調べを受けました。警察に「私ももらった」と申し出たものがあるという選挙中の悪質なタレコミは、私の陣営に対する妨害のほんの一端にすぎないことが後日、次々と判明するのです。しかも「地方選挙とはこんなもの」、で済ませるマスコミ等の風潮が「地方のボス自治」の実態をますます深刻化するのではないかと心配です。ともあれ、目標を失ったこの数ヶ月、予想しなかった苦痛と無力感に打たれました。

こんな中、行われた神戸での6回総会。被災地での痛ましい現実と悲しみの中で、力強く細やかな暖かい心配りで、総会を実現して下さった兵庫県の仲間に、運動の原点と希望を示していただきました。

選挙中「自然と共に生きよう」の訴えが多くの人々の心に届き、素晴らしい仲間を得たことを誇りに、運動を継続してゆこうと思えます。



手話を交えた合唱で、選挙戦敗北を締めくくる阿部悦子さん(右)と運動員たち

## 『地球からのメッセージを受けとめる』 のおすすめ

環瀬戸内海会議 畑 英理

あの朝の、夜が明けるまでの不気味な静けさ。地鳴りや余震の度にびくびくしながら、失ったものの大きさを計りかねていた。ろうそくの暖かさや近所の人達と分けあった朝のコーヒーがどんなにわたしたち自身を癒してくれただろうか。

-『地球からのメッセージを受けとめる』40頁-

環瀬戸内海会議では、立木トラスト・オーナーが被災地に1,000人近くも住んでいます。その方たちの消息をたずね、全員に問い合わせの手紙を出しました。そして1人のオーナーが亡くなったこと、家族や家や職業を失った方がその他にもたくさんあることを知りました。「他の地のオーナーの方に伝えるメッセージがありませんか」という問い合わせに30人以上の方が応えて下さいました。

環境破壊が被害を大きくしたのではないか、という痛恨の思いがその全員にありました。けれどまた、お互いに声をかけ励ますことが、人と人がつながることが、どれほど大切だったかということも皆が伝えてくれています。

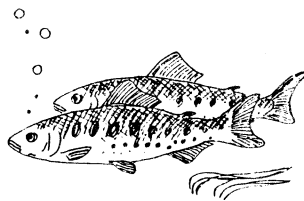
ごくふつうの市民がふつうの自分の言葉で綴った「被災地からのメッセージ」をどうぞあなたも受けとめてください。

立木オーナーの被災体験記、『地球からのメッセージを受けとめる』（52頁）をお読みにになりたい方は、下記口座宛、郵便振込にてお申込み下さい。

(700 円/ 会員価格 500円)

郵便振替 01190-8-7926 市島の自然と水を守る会

(Tel. Fax 078(795)2068 畑まで御連絡下さい)



# '94年度会計報告

'94年度 立木トラスト会計収支(総合)

収 入

費 目	収入額	備 考
トラスト代金	363.000	@1.500 × 242本
立木バンク代金	1.309.500	@1.500 × 873本
会報代収入	1.200	
寄附金	31.000	
受取利息	4.717	
前期繰越	1.356.635	784.816(普通口座), 28.347(振込口座) 500.000(定額口座), 43.472(手元現金)
合 計	3.066.052	

支 出

費 目	支出額	備 考
立木代	336.000	佐島(310本) / 直島(50本) / 東広島(60本)
"	176.000	東広島(110本) / 徳島(110本) [バンク分]
会報代	873.080	トラスト・ニュース No. 7 (286.590) / No. 8 (586.490)
事務費	44.977	
"	220.000	森水事務所支払分 / 前年過払分(11月分)控除
発送・通信費	66.106	
振込料金	430	
支払利息	4.530	
振込・振替料	380	
合 計	1.721.503	
95.3.31残	1.344.549	673.003(普通口座), 78.967(振込口座) 500.000(定額口座), 92.579(手元現金)

784.816(普通口座) 28.347(振込口座)

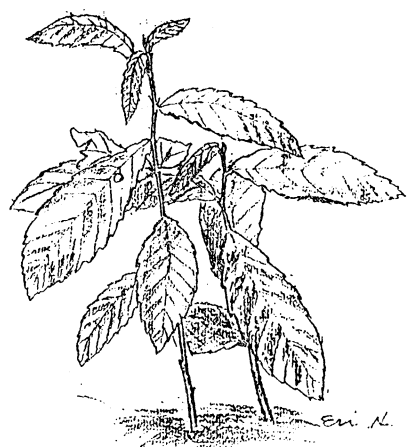
'94年度 一般会計収支

収 入

費 目	収入額	備 考
会 費	125.000	@5.000 × 25口
前期繰越	51.342	手持現金
合 計	176.342	

支 出

費 目	支出額	備 考
事務費	16.497	コピー代等
通信費	4.007	電話代等
総会費	100.000	第 5回総会(上下町)講師料含む
旅費補助	35.000	3/5(総会準備: 神戸 3名 25.000 / 岡山 2名 10.000)
合 計	155.504	
次期繰越	20.838	



## 1994年度会計監査報告

1994年度決算報告に基づき監査したところ、金銭収支及び帳簿の処理は正確にされていることを認めましたので、ここにご報告致します。

監事 前田俊英



監事 福崎裕夫



## 事務局だより

事務局の近況をお知らせします。

事務局の岸本久美子さんは待望の一子誕生。そのため現在リタイヤ中。ちなみに赤ちゃんの名は、長男なのに泰三君です。山中友子さんは高知へ転居しました。久保美恵子さんは、豊中市から現在は福岡へ。このため事務局は大幅変動です。

藤井純子さんは「憲法9条の会」や市民運動をネットワークする「草の根カレンダー」で活躍中です。小滝悦子さんは本が好き、山が好き、スイカ大好き、女性会議にも首を突っ込んでいます。石井出かず子さんは「たたら」（昔の製鉄）の研究の第一人者で、たたら「ほと」はまさに女性だと本も執筆しました。

こんな女性たちが現在、事務局を預かっています。名前は事務局長ですが事務のことは何も分かっていない、私、原戸祥次郎は刃物屋をやっています。

## もくじ

第6回環瀬戸内海会議総会 in 兵庫	(広島事務局) 藤井純子	1
立木ボランティア基金にご協力ください	事務局	2
環瀬戸内海会議第6回総会・記念集会アソケトヨリ		3-4
なんでゴルフ場があるの?? パート2	松板川を守る会 (広島) 河野好一	5
廃棄物処分場反対立木トラスト実施	水と命を守る会 (徳島) 工藤政幸	6
ゴルフ場 弓削・佐島が止まった!!	事務局	7
県議戦を戦って	(環瀬戸内海会議代表) 阿部悦子	8
「地球からのメッセージを受けとめる」のおすすめ	(兵庫) 畑 英理	9
'94年度会計報告	事務局	10

## 編集後記

今年の総会の会場となった舞子ピラは、建設中の明石大橋のま近で、その巨大さを一望することができた。この巨大な橋も一世紀という時間の中に置いてみるとやはりゴミである。それが実感できないのは人間の寿命がせいぜい100年、その先の時間について思いめぐらす知恵を欠いているからに過ぎない。本当にこんな巨大な人工物をこの地球にこれから先、在らしめてよいのか？

「何のために、誰のために、何を」復興するのか（あるいはしないのか）、じっくり考える必要がある、という早川先生の提言は本当に重い。そしてこれは、震災を受けた阪神・淡路だけでなく、私たちみんなが、自分の町で、身の回りで、考えてゆかなければならない課題だろう。

総会の会場で、香川の三木さんが持参したミズナラの苗木が配られた。私も一本もらってさっそく庭に植えた。この夏の暑さにも枯れずに新しい芽もだした。できればあと30年、どんなふう大きく育ってゆくのか見てみたいと思う。この木の兄弟がどこかで同じように育っていると思うのは楽しい。

「立木ボランティア」もこの木のように大きく育ってゆくことを願っている。 (船木)

瀬戸内トラストニュース 第9号

1995年 8月30日発行

「環瀬戸内海会議」代表 阿部 悦子 ☎794 今治市別宮町 9-7-4

TEL (0898)32-0100

広島事務局「森と水と土を考える会」☎733 広島市天満町 9-8

TEL・FAX(082)296-1444

(1部 100円)



## 『立木バンク』参加のおすすめ

私たちはこれまで、ゴルフ場開発反対し「立木トラスト」を実施してきました。これは、私たち1人1人が立木を買い、その所有権をよりどころに、

- (1)ゴルフ場開発に反対する地権者を支える。
- (2)ゴルフ場開発の許認可に「ノー」を言う。運動でした。

90年9月からこれまでに販売した立木は13,000本、オーナー数は延べ5,000人を越えました。そして、瀬戸内や島根県で15ヶ所のゴルフ場開発をストップさせています。

私たちは、ゴルフ場だけでなく、今後も起こりうるさまざまな自然破壊（ゴミ処分場、ダム建設等）に備え、新たに「立木バンク」を始めました。さらにこの「立木バンク」は、今の森を守り、新しく森を作ったり復元したりする運動も視野に入れていきます。

みなさまには、「立木トラスト」の必要に備え、銀行（バンク）に預金するように、「立木を買う資金」を預けていただきます。そしていったん事があればそれで直ちに立木を買い、「札かけ」に移ります。

立木は1本1,500円とします。立木にかける札には、お名前とメッセージを書きます。

お申し込みいただきますと、その時点でバンクの登録番号をお知らせし、後日、立木に札を掛けた時点で、トラスト実施の理由や現地の状況、立木の立っている地番等の詳細について御連絡いたします。また少なくとも1年間は会報（トラスト・ニュース）をお送りします。

## 立木バンクの約束

1. 私たち「環瀬戸内海会議」（以下甲という）は、瀬戸内海に思いをよせる人々と手をたずさえ、瀬戸内周辺一帯の環境を守り子孫に手渡すため、「立木バンク」を設立します。
2. 私たちは、上記目的を達成するため、広く、立木購入希望者（立木バンク登録者）を募ります。
3. 私たちは、上記目的を達成するため、瀬戸内海周辺一帯から広く立木を購入することに努めます。
4. 私たちの購入した立木は、順次、遅滞なく、立木バンク登録者にその所有権を移転します。
5. 上記所有権の移転により立木バンク登録者が立木に関し取得する権利は、甲と甲の前主との間で結ばれる「立木トラスト契約」により甲が取得する権利の範囲内に限られるものとします。

1994年9月30日

環瀬戸内海会議 代表 阿部 悦子  
〒794 今治市別宮町9-7-4  
TEL (0898)32-0100

事務局 森と水と土を考える会  
〒733 広島市西区天満町9-8 白土ビル  
TEL. Fax (082)296-1444

## 払込取扱票

00	広島	口座番号（右詰めにご記入ください）										
0	1	3	9	0	8	2	5	7	4	2	金額	
加入者名	瀬戸内トラスト										料	特殊
通	◎ 『立木バンク』に ___ 本、申し込みます。(1,500円/本)										金	取扱
信	◎ メッセージをどうぞ											
欄	◎ 希望する場所（もしあれば、お書き下さい）											
払込人住所氏名	(郵便番号)										受付局日附印	
	(電話番号)											

裏面の注意事項をお読み下さい。(郵政省) (私製承認第380号)

## 払込票兼受領証

口座番号	0	1	3	9	0	8	右詰めにご記入ください					
							2	5	7	4	2	
加入者名	瀬戸内トラスト											
金額	千 百 十 万 千 百 十 円											
払込人住所氏名												
料	(消費税込み) 受付局日附印											
金	円											
特殊取扱												

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押しつけてください。切り取らないで郵便局にお出しください。